

令和5年度の重点課題

○体力面

・男子は「20mシャトルラン」において、県平均値を下回っていた。
 ・女子は、「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」において、県平均値を下回っていた。

○運動習慣・運動意欲面

・「運動やスポーツをするときは一日にどれくらいの時間しますか。」という質問に対し、56%の児童が運動に対して1時間以上であると回答したが、44%の児童が1時間未満しか運動をしていないと回答した。このことから、運動に対して意欲的な児童は運動をする時間を確保できているが、意欲でない児童は運動をする時間が短く、運動意欲が高い児童と、そうでない児童の運動量に差があることが分かった。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○体育の授業の運動量を高める

児童の体力を高めるために、授業構成、場の設定を工夫して1単位時間の授業の運動量を高めた。

○児童会活動(体育委員会)を中心とした外遊びの推進において、外遊びを呼びかけたり行事と関連付けた取組を考えた。昨年は、なわとび大会に向けて「因北ギネス」という取組を行った。この「ギネス」では、体育委員会が中心となって、休憩時間に記録を測定し、最高記録を掲示することで、児童が意欲的に運動できるように工夫した。

○体育朝会の実施

朝会時に、かけ足や縄跳びなどを行い、児童の運動機会の確保をしたり、学校全体が一体となって運動に取り組む雰囲気を作ったりした。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.14	19.48	31.24	34.43	39.29	9.60	149.10	23.05	50.81	第5学年	15.50	17.75	34.95	30.55	26.15	10.48	136.05	13.45	47.84

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.14	19.48	31.24	34.43	39.29	9.60	149.10	23.05	50.81	第5学年	15.50	17.75	34.95	30.55	26.15	10.48	136.05	13.45	47.84

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	80.95	19.05	0.00	0.00	第5学年	60.00	40.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

運動の好き嫌いに関するアンケート(%)													
	好き	少し好き	少し嫌い	嫌い	肯定的評価	否定的評価		好き	少し好き	少し嫌い	嫌い	肯定的評価	否定的評価
1年	68.2	13.6	9.1	9.1	81.8	18.2	4年	71.7	8.7	13.0	6.5	80.4	19.6
2年	66.7	20.8	8.3	4.2	87.5	12.5	5年	70.5	29.5	0.0	0.0	100.0	0.0
3年	74.5	12.8	2.1	10.6	87.2	12.8	6年	77.4	9.4	5.7	7.5	86.8	13.2
							全体	71.7	14.0	7.2	7.2	85.7	14.3

重点課題

情意面での課題

運動の好き嫌いに関する意識調査では、全ての児童が肯定的な評価を示したが、「運動やスポーツをどのくらいしていますか」という質問に関して、ほとんど毎日(週に3日以上)と答えた児童が48.78%、ときどき(週に1～2回)、ときたま(月に1～3日くらい)と回答した児童が43.89%であった。運動することに対して肯定的に考えていても休憩時間や休日になると運動ができていないことが課題と考えられる。また、同様の質問を全学年全児童対象に行ったところ、運動をすることを否定的にとらえている児童が14.3%であった。5年生のみの数値と比較して、運動嫌いの児童が多いことが課題と考えられる。

体力面での課題

・男子は「握力」「上体起こし」「ボール投げ」を除く5種目および体力合計点において県平均値かつ全国平均値を下回った。
 ・女子は「ボール投げ」を除く全ての種目および体力合計点において県平均値かつ全国平均値を下回った。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○1単位時間の授業における運動量を確保できるように職員研修を通して準備運動の工夫の改善を働きかける。
 ○主運動につながる運動やゲーム性を含んだ軽い運動に取り組んだり、安田式体育遊びを取り入れたりすることで、児童が運動に慣れ親しみ、意欲的に学習に取り組めるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○委員会活動、休憩時間の活動
 運動に対する意欲が低い児童も前向きに運動に取り組めるように、体育委員会が主体となって、休憩時間に児童が外遊びに取り組む事ができるような活動を企画、実施する。
 ○体育朝会の実施
 朝会時に、5分間走や縄跳びなどを行い、児童の運動機会の確保をし、学校全体が一体となって運動に取り組む雰囲気を醸成する。

令和7年度の
重点目標値

・全般的な体力の向上を図り、新体力テストの総合評価AB率がED率を上回るようにする。
 (今年度は、AB率20.0%、ED率50.0%)